東海大学医学部付属八王子病院　広報誌

医療連携ニュース

2020年12月号
発行　東海大学医学部付属八王子病院 患者支援センター 医療連携室　TEL:042(639)1114 FAX:042(639)1115

歳末の候、貴施設におかれましては益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営にご理解とご助力を賜り、また、多数の患者様をご紹介いただき、厚く御礼申し上げます。
このたび、東海大学医学部付属八王子病院医療連携ニュース2020年12月号を発行いたしました。
先生方が、ますます当院との医療連携を深めていただく、一助となれば幸いです。

患者支援センター長　野川　茂、　医療連携室長　角田 隆俊

脳卒中・神経センターにおける取り組み

副院長、脳卒中・神経センター長

神経内科　教授　野川　茂　医師

【専門領域】

脳血管障害、パーキンソン病、頭痛

我が国は65歳以上の人口が全体に占める割合（高齢化率）が30%に達しようという超高齢社会であり、特に八王子市における高齢化は他の地域よりも著しくなっています。そのため、脳卒中や認知症・パーキンソン病を含めた神経変性疾患が急速に増加しています。当センターは、これらの神経疾患に対して、包括的かつシームレスに対応すべく創設された神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科合同の診療基盤です。

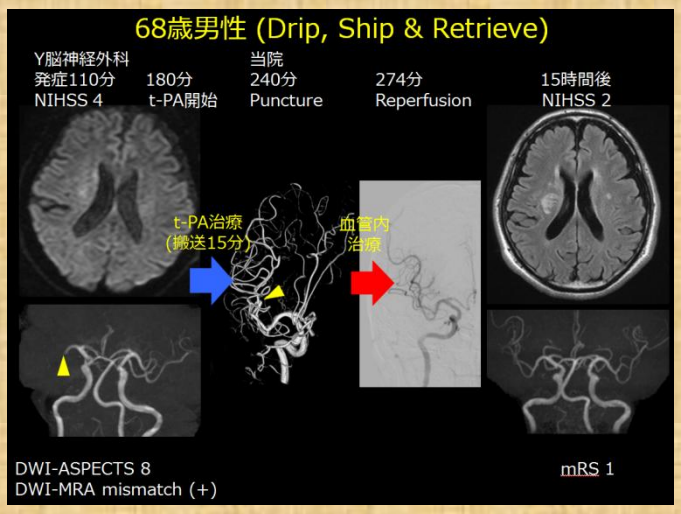
2018年の急性期脳卒中診療の実績は472例（うち血管内治療は34例）で、都下の大学病院を含む全病院で第5位となっています（2019年読売新聞調べ）。また、2020年4月には、全国で初めて個人防護具・ゾーニング下でのCOVID-19患者の血管内治療を成功させました。今後、「脳卒中・循環器病対策基本法」に則り、全国で「血管内治療」(図)を含む超急性期脳卒中治療の均霑化が行われる予定ですが、当院は脳卒中学会が主導する1次脳卒中センター(PSC)に認定されており、この地域で主導的な役割を果たして参ります。

当院は神経難病、特にパーキンソン病(PD)の診療にも力を入れています。パーキンソン病の有病率は高齢者ほど高くなることから、人口高齢化に伴い「PDパンデミック」が起きるとされています。当院は、南多摩医療圏で唯一「東京都難病医療協力病院」に指定されており、造設した胃瘻から直接空腸にレボドパを注入する「デュオドーパ®」などの新しい治療法にも取り組んでいます。

また、当院は頭痛学会で認定された「頭痛センター」で、最近では、CGRPおよびCGRP受容体に対するモノクローナル抗体薬の治験にも参加しました。今後も頭痛専門医による学問的知識に裏付けられた精緻な頭痛診療を心がけて参ります。

近隣の医師会の先生方や介護センターとの連携では、八王子市医師会が推進している医療連携ツール「まごころネット」にも参加し、ALS患者などの在宅医療サポートを行っています。また、日野市医師会や包括支援センターと共同で、患者のための「神経難病療養相談会」やコメディカルのための「医療と介護の連携推進勉強会」なども行っています。残念ながら、これらの試みは、ウィズ・コロナの時代には継続が困難な状況ではありますが、当院ではwebを用いた「Hachioji Medical Conference」などの講演会を企画しています。

どうか皆様方におかれましては、今後とも当センターへの暖かいご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



他院で診断された右中大脳動脈梗塞に対して、t-PAを点滴(Drip)しながら当院へ搬送(Ship)。さらに、血管内血栓除去術（Retrieve）を行ない、予後良好の転帰を得た。

人手不足でご迷惑おかけします

総合相談室長、皮膚科　教授　松山　孝　医師

【専門分野】
皮膚科全般（学位はアトピー性皮膚炎の研究で取得）

【専門医・認定医】
日本皮膚科学会　専門医
日本皮膚科学会東京支部評議員

当院の皮膚科は、常勤医2名（専門医1名）非常勤医1名（乾癬外来担当）の体制で皮膚科診療を行っています。大学病院といっても近隣の基幹病院の中ではかなり小規模で診療を行っています。

一般診療を午前中、午後は皮膚生検、手術、専門外来を行っています。そのため紹介・初診の患者さんは午前のみの対応とさせていただいています。原則予約制ではありますが、2名でフル回転の外来でもお待たせすることをご了解ください。（水曜・木曜日は医師1名体制）

自称アトピー性皮膚炎の専門家ではありますが、現状皮膚科全般の疾患の診療にあたっています。最近の新しい皮膚疾患の治療法である、生物学的製剤は、乾癬、アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎などに適応の薬剤として使用されています。当院でも、難治症例に関して導入しています。 また、ときに治験も行っています。時期により取り扱っている疾患が異なりますが、適応疾患に関してお問い合わせいただけましたら幸甚です。

皮膚腫瘍に関しましては、積極的に治療は行っていませんが、診断のためダーモスコピー、表在超音波検査、皮膚生検は行っています。確定診断後手術の適応なら当院形成外科へ紹介しています。

その他水疱症、薬疹などの診断加療も行っています。水疱症であれば皮膚生検、血液抗体価検査、薬疹であれば皮膚生検、D-LST検査を実施しています。治療は、おもにステロイドによる加療となりますが、難治・重症の場合、血漿交換、γ グロブリン大量療法加療も行います。

小規模でやっていますが、近隣皮膚科医と情報交換は適宜行っています。（今年はコロナの影響で難しい状況ですが。）今後も南多摩地域の皮膚科診療に微力ながら貢献できるように頑張ってまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

医療連携室からのお知らせ

当院では、午前8時から11時までに来院された初診患者様は、予約の有無にかかわらず診療いたします。（一部の診療科を除く）

ご紹介におかれましては、紹介状を作成いただき、当日に持参いただければ幸いです。なお、従来の事前予約による診療も行っております。

診療受付時間：月曜日～金曜日、第2・4・5土曜日　8:00～11:00
休診日：日曜日・祝日、第1・3土曜日、11月1日（建学記念日）、12月29日～1月3日

医療機関専用ダイヤル　042-639-1114　　平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30

医療機関専用ファックス　042-639-1115　　24時間対応　＊受付時間以降の受信は、翌日対応となります。

一般ダイヤル　042-639-1111(代表)　　平日8:30～16:30、第2,4,5土曜日 8:30～14:30